

令和8年度	特別活動 評価規準	学校名	江戸川区立南葛西第二中学校	学年	第1学年
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画	11	学級目標及び各学期の個人目標をもとに、自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくることができる。	様々な視点から自分や他者のよいところを認め、自己理解、他者理解を深めている。	自己および学級をよりよくするために課題を見出し、共に協力し、尊重しながらよりよい集団作りを実践している。	学校生活を通して自己が成長できるように、自分及び他者の個性を理解しながら豊かな人間関係を育もうとしている。
学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	6	学期末に日常の生活や学習への適応を振り返ることで、学期内の個人・学級の成長を実感し、来学期への展望をえがくことができる。	学期末の振り返りの意義を理解し、来学期の展望をえがくことの重要性を理解している。	学期末に個人・学級を見つめ直すことで、学期内の個人・学級の成長について考え、来学期への展望をえがこうとしている。	学期末の振り返りに取り組み、個人・学級と向き合って、より良い学校生活を実現しようとしている。
学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	18	定期考査・長期休業日に向けて、自主的に学習する意義を意識して、学習の見通しを立てたり、ふり返ったりすることができる。	自身が意欲的に学習に取り組める、効果的に結果を出すための学習計画作成方法を理解している。	苦手教科の克服方法や自分にふさわしい学習方法について、悩んだり話し合いながら解決策を模索し、実践している。	自分のよさや得意なことを伸ばす、自己を高め充実した人生を送る、将来の夢や希望を実現するなどの観点から、学ぶことの意義を見い出そうとしている。
生徒会活動	6	学級及び学校生活の充実や向上のために、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して協力して実践することができる。	学級としての目標やねらい、組織をつくる必要性について理解している。 生徒が主体的に組織をつくり、よりよい学校生活を目指すことの大切さを理解している。	学級、学校生活の充実や向上のために、生徒が自己の役割に対する責任を自覚し、課題を見つけて話し合っ工夫して実践している。	生徒が互いの個性を尊重しながら、役割を分担して主体的に協力し合おうとしている。
学校行事 (1) 儀式的行事	10	社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なルールやマナーを考え、行動することができる。	儀式的行事の意義、それに伴うルールやマナー、社会参画意識、公平性や自主・自律の心の大切さを理解している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルを持って臨めるように、互いに協力しながらそれぞれの責任を果たせるよう考え、実践している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルの意義について考え、社会生活を営む上で必要なマナーについて主体的に身につけようとしている。
学校行事 (2) 文化的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 旅行・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事	—	遠足等の様々な学校行事を通して、多様な集団活動や学校生活全体の向上について考えてみたり、学級の提案や取り組みを話し合っ決めてすることができる。	遠足等の様々な学校行事への参加や協力、異年齢集団の意義などについて、話し合いや振り返りを通して理解している。	学級内での小集団、学校行事で組織される集団など任意の集団の中で、望ましい人間関係の構築について考え、実践している。	遠足等の様々な行事の中で、それぞれの集団への適応を図るとともに、それらの活動を通して学校や学級の生活を向上させようとしている。

特別活動 評価規準		学年 第1学年			
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画	11	学級目標及び各学期の個人目標をもとに、自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくることができる。	様々な視点から自分や他者のよいところを認め、自己理解、他者理解を深めている。	自己および学級をよりよくするために課題を見出し、共に協力し、尊重しながらよりよい集団作りを実践している。	学校生活を通して自己が成長できるように、自分及び他者の個性を理解しながら豊かな人間関係を育もうとしている。
学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	6	学期末に日常の生活や学習への適応を振り返ることで、学期内の個人・学級の成長を実感し、来学期への展望をえがくことができる。	学期末の振り返りの意義を理解し、来学期の展望をえがくことの重要性を理解している。	学期末に個人・学級を見つめ直すことで、学期内の個人・学級の成長について考え、来学期への展望をえがこうとしている。	学期末の振り返りに取り組み、個人・学級と向き合って、より良い学校生活を実現しようとしている。
学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	18	定期考査・長期休業日に向けて、自主的に学習する意義を意識して、学習の見通しを立てたり、ふり返ったりすることができる。	自身が意欲的に学習に取り組める、効果的に結果を出すための学習計画作成方法を理解している。	苦手教科の克服方法や自分にふさわしい学習方法について、悩んだり話し合いながら解決策を模索し、実践している。	自分のよさや得意なことを伸ばす、自己を高め充実した人生を送る、将来の夢や希望を実現するなどの観点から、学ぶことの意義を見い出そうとしている。
生徒会活動	6	学級及び学校生活の充実や向上のために、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して協力して実践することができる。	学級としての目標やねらい、組織をつくる必要性について理解している。 生徒が主体的に組織をつくり、よりよい学校生活を目指すことの大切さを理解している。	学級、学校生活の充実や向上のために、生徒が自己の役割に対する責任を自覚し、課題を見つけて話し合っ工夫して実践している。	生徒が互いの個性を尊重しながら、役割を分担して主体的に協力し合おうとしている。
学校行事 (1) 儀式的行事	10	社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なルールやマナーを考え、行動することができる。	儀式的行事の意義、それに伴うルールやマナー、社会参画意識、公平性や自主・自律の心の大切さを理解している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルを持って臨めるように、互いに協力しながらそれぞれの責任を果たせるよう考え、実践している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルの意義について考え、社会生活を営む上で必要なマナーについて主体的に身につけようとしている。
学校行事 (2) 文化的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 旅行・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事	—	職場体験や校外学習等の様々な学校行事を通して、多様な集団活動や学校生活全体の向上について考えてみたり、学級の提案や取り組みを話し合っ決めることができる。	職場体験や校外学習等の様々な学校行事への参加や協力、異年齢集団の意義などについて、話し合いや振り返りを通して理解している。	学級内での小集団、学校行事で組織される集団など任意の集団の中で、望ましい人間関係の構築について考え、実践している。	職場体験や校外学習等の様々な行事の中で、それぞれの集団への適応を図るとともに、それらの活動を通して学校や学級の生活を向上させようとしている。

特別活動 評価規準		学年 第2学年			
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画	11	学級目標及び各学期の個人目標をもとに、自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくることことができる。	様々な視点から自分や他者のよいところを認め、自己理解、他者理解を深めている。	自己および学級をよりよくするために課題を見出し、共に協力し、尊重しながらよりよい集団作りを実践している。	学校生活を通して自己が成長できるように、自分及び他者の個性を理解しながら豊かな人間関係を育もうとしている。
学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	6	学期末に日常の生活や学習への適応を振り返ることで、学期内の個人・学級の成長を実感し、来学期への展望をえがくことができる。	学期末の振り返りの意義を理解し、来学期の展望をえがくことの重要性を理解している。	学期末に個人・学級を見つめ直すことで、学期内の個人・学級の成長について考え、来学期への展望をえがこうとしている。	学期末の振り返りに取り組み、個人・学級と向き合って、より良い学校生活を実現しようとしている。
学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	18	定期考査・長期休業日に向けて、自主的に学習する意義を意識して、学習の見通しを立てたり、ふり返ったりすることができる。	自身が意欲的に学習に取り組める、効果的に結果を出すための学習計画作成方法を理解している。	苦手教科の克服方法や自分にふさわしい学習方法について、悩んだり話し合いながら解決策を模索し、実践している。	自分のよさや得意なことを伸ばす、自己を高め充実した人生を送る、将来の夢や希望を実現するなどの観点から、学ぶことの意義を見い出そうとしている。
生徒会活動	6	学級及び学校生活の充実や向上のために、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して協力して実践することができる。	学級としての目標やねらい、組織をつくる必要性について理解している。 生徒が主体的に組織をつくり、よりよい学校生活を目指すことの大切さを理解している。	学級、学校生活の充実や向上のために、生徒が自己の役割に対する責任を自覚し、課題を見つけて話し合っ工夫して実践している。	生徒が互いの個性を尊重しながら、役割を分担して主体的に協力し合おうとしている。
学校行事 (1) 儀式的行事	10	社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なルールやマナーを考え、行動することができる。	儀式的行事の意義、それに伴うルールやマナー、社会参画意識、公平性や自主・自律の心の大切さを理解している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルを持って臨めるように、互いに協力しながらそれぞれの責任を果たせるよう考え、実践している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルの意義について考え、社会生活を営む上で必要なマナーについて主体的に身につけようとしている。
学校行事 (2) 文化的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 旅行・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事	—	職場体験や校外学習等の様々な学校行事を通して、多様な集団活動や学校生活全体の向上について考えてみたり、学級の提案や取り組みを話し合っ決めることができる。	職場体験や校外学習等の様々な学校行事への参加や協力、異年齢集団の意義などについて、話し合いや振り返りを通して理解している。	学級内での小集団、学校行事で組織される集団など任意の集団の中で、望ましい人間関係の構築について考え、実践している。	職場体験や校外学習等の様々な行事の中で、それぞれの集団への適応を図るとともに、それらの活動を通して学校や学級の生活を向上させようとしている。

特別活動 評価規準		学年 第3学年			
単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画	11	学級目標及び各学期の個人目標をもとに、自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくることことができる。	様々な視点から自分や他者のよいところを認め、自己理解、他者理解を深めている。	自己および学級をよりよくするために課題を見出し、共に協力し、尊重しながらよりよい集団作りを実践している。	学校生活を通して自己が成長できるように、自分及び他者の個性を理解しながら豊かな人間関係を育もうとしている。
学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	6	学期末に日常の生活や学習への適応を振り返ることで、学期内の個人・学級の成長を実感し、来学期への展望をえがくことができる。	学期末の振り返りの意義を理解し、来学期の展望をえがくことの重要性を理解している。	学期末に個人・学級を見つめ直すことで、学期内の個人・学級の成長について考え、来学期への展望をえがこうとしている。	学期末の振り返りに取り組み、個人・学級と向き合って、より良い学校生活を実現しようとしている。
学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	18	定期考査・長期休業日に向けて、自主的に学習する意義を意識して、学習の見通しを立てたり、ふり返ったりすることができる。	自身が意欲的に学習に取り組める、効果的に結果を出すための学習計画作成方法を理解している。	苦手教科の克服方法や自分にふさわしい学習方法について、悩んだり話し合いながら解決策を模索し、実践している。	自分のよさや得意なことを伸ばす、自己を高め充実した人生を送る、将来の夢や希望を実現するなどの観点から、学ぶことの意義を見い出そうとしている。
生徒会活動	6	学級及び学校生活の充実や向上のために、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して協力して実践することができる。	学級としての目標やねらい、組織をつくる必要性について理解している。 生徒が主体的に組織をつくり、よりよい学校生活を目指すことの大切さを理解している。	学級、学校生活の充実や向上のために、生徒が自己の役割に対する責任を自覚し、課題を見つけて話し合って工夫して実践している。	生徒が互いの個性を尊重しながら、役割を分担して主体的に協力し合おうとしている。
学校行事 (1) 儀式的行事	10	社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なルールやマナーを考え、行動することができる。	儀式的行事の意義、それに伴うルールやマナー、社会参画意識、公平性や自主・自律の心の大切さを理解している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルを持って臨めるように、互いに協力しながらそれぞれの責任を果たせるよう考え、実践している。	儀式的行事にふさわしい礼儀作法やルール、モラルの意義について考え、社会生活を営む上で必要なマナーについて主体的に身につけようとしている。
学校行事 (2) 文化的行事 (3) 健康安全・体育的行事 (4) 旅行・集団宿泊的行事 (5) 勤労生産・奉仕的行事	—	修学旅行や奉仕活動等の様々な学校行事を通して、多様な集団活動や学校生活全体の向上について考えてみたり、学級の提案や取り組みを話し合っ決めて決めることができる。	修学旅行や奉仕活動等の様々な学校行事への参加や協力、異年齢集団の意義などについて、話し合いや振り返りを通して理解している。	学級内での小集団、学校行事で組織される集団など任意の集団の中で、望ましい人間関係の構築について考え、実践している。	修学旅行や奉仕活動等の様々な行事の中で、それぞれの集団への適応を図るとともに、それらの活動を通して学校や学級の生活を向上させようとしている。